

八王子の宝物を集め、みがいて みんなのミュージアムをつくらう！

地域デザイン学芸員エクスプローラの養成プログラム

1 プログラムのねらい

八王子は関東平野の西端の丘陵地帯に囲まれた盆地で里山がひらけています。東西に甲州街道、南北に鎌倉や横浜、川越や日光などへ続く街道が貫く交通の要所として、近代の日本をリードした養蚕業や絹産業が栄えた記憶が、まちの中にぎざみこまれています。霊峰高尾山をいただく豊かな自然文化資源と城下町、宿場町、絹の産業都市として発展をとげました。祈りと物語が豊かな八王子は、「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」として日本遺産に指定されています。

八王子の宝物には、私たちの暮らしを豊かにするヒントがつまっています。そのような魅力があふれた八王子の宝物に新しい光をあて、ふるさとの宝物をもっと楽しくまなぶことができるプロジェクトを実行したいと思います。

今回の演習では、八王子のふるさとの宝物をミュージアムにして、みんなが生きるチカラを育むことができる映像や本、アートづくりに挑戦します。演習での学びと実践をとおり、地域デザイン学芸員エクスプローラのスキルを習得します。



2 おもな学習内容と成果物

- ①八王子の地域文化資源を集め、記録し、整理します。
- ②八王子の宝物を誰もが楽しく、生きるチカラを育むことができる物語に編集します。
- ③物語化したコンテンツを素材に、**ミュージアムブック、短編映画などを創作**します。
- ④受講者の学びの成果を共有し、ミュージアムに展示する**記念ブック、映像**を制作します。

※おもな八王子の宝物：高尾山、八王子の自然資源（里山、関東山地の丘陵、盆地）、歴史資源（八王子城、刀、流鏑馬）生活風景、農や食、養蚕などの産業遺産、アート、現代の生活スタイルなどひろ視野で考えます。



3 実施日時と会場

- 1) 開催日時：2022年7月6日（水）～12月28日（水）
毎週水曜日の13:30-15:30 全20回
- 2) 会場：八王子市
※講義や演習は、オンデマンドでも実施しますので、都合の問い時に参加可能です。

4 講師 日本地域資源学会会長 塚原 正彦ほか日本地域資源学会講師陣

5 受講費用 ライセンス登録料：10000円 授業料：40000円

※地域デザイン学芸員 エクスプローラとは

地域デザイン学芸員とは、地域の文化、生活資源を付加価値化し、観光、都市デザイン、コミュニケーションなどの新しい産業を起業したり、これまでであった産業を文化や生活の視点から変革、創造することができる新しい人材です。地域デザイン学芸員エクスプローラとは、ふるさとの宝物を探しだし、みがきあげることができる能力があり、学習や観光に貢献できるコンテンツをつくりだすスキルと資質を持っていることの証明です。地域デザイン学芸員のライセンスを取得した受講生は、日本地域資源学会が監修する「みんなのミュージアム」に制作したマイブックを展示することができます。最終的にはマイミュージアム（コレクションボックス）を公開し、子どもの大学たんけんミュージアムの講師として活動します。



■問い合わせ先 日本地域資源学会地域デザイン学芸員養成ゼミ

info2022@ieducator.com

<https://www.j-contents.org>



地域デザイン学芸員エクスプローラの養成プログラムの内容

講座001 みんなで八王子の宝物を集めて記録しよう

1 講義の趣旨

八王子のまちなかには、自然、歴史、文化、芸術などの地域文化資源がたくさんあります。美しい景色やとびきりおいしい物語、人々の笑顔など幸せのヒントを教えてくれる宝物もまだまだたくさんあります。この講座では、「あしたのための八王子の魅力とチカラを記録しよう」という目標を設定します。地域デザイン学芸員として未来のまなざしから宝物を探し、記録するチカラをみがいて受講者の知恵や経験を持ち寄り、八王子の宝物を集めるプロジェクトに挑戦し、集めた宝物をみがいて、マイミュージアムをつくるプロジェクトに挑戦します。

2 講義で得られるスキルとチカラ

- ①歩く、みる、きく、記録する（＝地域文化資源調査）基本スキルが習得できます。
- ②カメラの使い方、画像の整理とパソコンを使った記録処理が習得できます。
- ③デジタルアーカイブをするための基本スキルを習得します。
- ④ふるさとの宝物（地域文化資源）を目利きするチカラを育みます。

3 講師

塚原正彦 日本地域資源学会会長、日本地域社会研究所長、代表取締役社長 ほか

4 実施日程と会場

7月6日（水）～9月28日（水）までのうち10日

※水曜日の13:30～15:30を八王子市内で開講します。オンデマンド参加が可能です。

5 講義内容

第1章 ミュージアムと未来

- 001：みんなのミュージアムと地域デザイン学芸員の役割
- 002：ふるさとの宝物に未来がみえる
- 003：ミュージアムから未来をデザインする
- 004：世界のミュージアムとふるさとのミュージアム

第2章 八王子の宝物を集めてみよう

- 005：未来のまなざしから八王子の宝物を考える
- 006：宝物を集める調査の方法（歩く・みる・聞く・記録する）
- 007：宝物を記録する

第3章 八王子の宝物を整理する

- 008：集めた宝物をまとめる（デジタルアーカイブ）
- 009：八王子の宝物を共有する（デジタルコミュニケーション）
- 010：プレゼンテーションとキャリアカルテの記録

講座002 八王子の宝物を物語にして、世界とつながる

1 講座の概要

素晴らしい宝物を集めても、それが人に届き、心を動かすものでなければ、紙くずになってしまいます。宝物をもっと多くの人々に伝え、共感してもらうためには、情報を整理、編集し、物語化する必要があります。デジタル社会がさらに進展している今日、文字情報と画像、音声を組み合わるアプローチも必要になります。八王子の魅力を世界に伝えるコンテンツを制作する課題をとおり、コミュニケーションの達人になるための基本スキルとその資質を磨きます。

2 得られるスキルとチカラ

- ①集めてきた宝物を物語化するためのアプローチを習得します。
- ②展示パネル、リーフレット、絵本、動画、ホームページなどを製作する基本スキルを習得します。
- ③文字情報、画像、音声をくみあわせたデジタルコミュニケーションの基本スキルを習得します。
- ④SNSを活用し、コミュニケーション戦略を企画できるようにします。

3 講師

塚原正彦 日本地域資源学会会長、日本地域社会研究所長、代表取締役社長 ほか

4 実施日程と会場

第2期：10月5日（水）～12月28日（水）までのうち10日

※水曜日の13:30-15:30を八王子市内で開講します。オンデマンド参加が可能です。

5 講義内容

第1章 コミュニケーションと物語化の魅力を理解する

- 001：人に気づいてもらうアプローチ コミュニケーションデザインとは
- 002：人をひきつける物語とそのデザインを習得する
- 003：デジタルコミュニケーションの活用を学ぶ

第2章 ふるさとの宝物を物語化する

- 004：八王子の宝物を編集して物語にしてみる
- 005：物語を本、映像、ミュージアムにする
- 006：物語を共有し編集する
- 007：ミュージアムコンテンツをつくるシナリオ

第3章 ミュージアムブックを制作しプレゼンする

- 008：ミュージアムブックを制作するデザイン基礎
- 009：ミュージアムブックを試作する
- 010：ミュージアムブックをプレゼンする